

描いた絵が動き出す！
カメラ付きの次世代型デジタルスケッチブック
『おえかきアーティスト』
2016年7月上旬発売

株式会社バンダイ(代表取締役社長:川口勝、本社:東京都台東区)の子会社である株式会社メガハウス(代表取締役社長:奥山巖、本社:東京都台東区)は、カメラ付きの次世代型デジタルスケッチブック『おえかきアーティスト』(21,600円・税8%込/20,000円・税抜)を、2016年7月上旬に発売します。メインターゲットは3~4歳の男女で、全国の玩具取扱店で販売します。

本商品は、液晶パネルに付属の専用タッチペンで絵を描くと、描いた絵が動き出す「動く絵モード」や、簡単にパラパラアニメを作る「パラパラアニメモード」など全10モードを搭載しており(※次頁参照)、デジタルならではのおえかき遊びを、成長に合わせて長く楽しむことができます。10モードのうちのメインである「動く絵モード」は、背景を選び、白枠内に好きな絵を描き「できた」ボタンを押すと動いたり、自分で描いた導線に沿って絵を動かすこともできます。背景は、水族館や街など全6種類のほか、自分で描いた絵やカメラで撮影した写真も設定可能です。

搭載しているカメラを使って遊ぶこともでき、「カメラモード」で撮影した写真に落書きができます。また、「マンガ作成モード」で撮影した写真は薄く現れ、トレースすると上手に絵を描けるほか、「パラパラ写真モード」では、撮影した写真を使いコマ送り動画を作ることができます。

使用できる色は全96色で、えんぴつや筆ペンなど4種類、線の太さが3種類の計12種類の画材から選べます。また、使う色ごとに音流れ、タッチペンを動かす動作も楽しめます。内蔵メモリには絵を約150枚保存可能で、microSDカード(別売り)にも対応しており、お子さまの大切な絵をそのままに保存できます。本体サイズは幅352mm、厚さ25mm、高さ262mmで持ち手がついており、子どもがどこにでも持ち運びしやすい仕様となっています。



『おえかきアーティスト』

21,600円・税8%込/20,000円・税抜き、2016年7月上旬発売

『おえかきアーティスト』動く絵モードでの遊び方



①白枠の中に絵を描きます。

②「できた」ボタンを押します。

③描いた絵が動きます。

④自分で導線を描くと…。

⑤導線に沿って動きます。

<商品概要>

メーカー希望小売価格	21,600 円・税 8%込/20,000 円・税抜	発売日	2016 年 7 月上旬
対象年齢	3 歳以上	電池	単 2 乾電池 × 3 本(別売り)
商品本体サイズ	幅 352mm×厚さ 25mm×高さ 262mm	連続使用時間	約 4 時間(アルカリ乾電池)
ディスプレイ	9 インチワイド液晶	商品重量	1105g
セット内容	おえかきアーティスト本体、専用タッチペン、取扱説明書		
撮影サイズ	30 万画素 (ファイル形式:JPEG・本体保存枚数 約 150 枚)		
撮影記録メディア	本体内蔵メモリ 68MB/microSD 32GB 対応(別売り)		
モード	①動く絵モード ②パラパラアニメモード ③パラパラ写真モード ④マンガ作成モード ⑤カメラモード ⑥メッセージアニメモード ⑦ぬりえモード ⑧せんなぞりモード ⑨もじなぞりモード ⑩おえかきモード		
販売ルート	全国の玩具取扱店		

<モード詳細>

①動く絵モード



自分の描いた絵が描いた基軸に沿って動かすことができます。

②パラパラアニメモード



前に描いた絵が透けて見え、簡単にパラパラアニメを作れます。

③パラパラ写真モード



カメラで撮影した写真でパラパラ動画を作れます。

④マンガ作成モード



搭載カメラで撮影すると線画風に変換し、トレースして絵を描けます。

⑤カメラモード



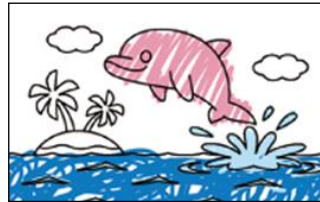
撮影した写真に落書きやメッセージを描けます。

⑥メッセージアニメモード



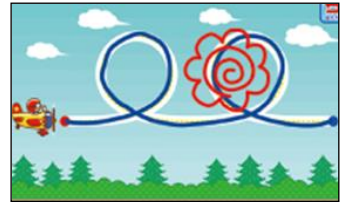
描いた手順を録画し、描き始めから順に再生します。

⑦ぬりえモード



18 種類の絵から選んで、ぬりえができます。

⑧せんなぞりモード



内蔵しているイラストをなぞることで運筆力を高めます。

⑨もじなぞりモード



50 音から好きな文字を選んで書く練習ができます。

⑩おえかきモード



自由に絵を描けるモードです。

メガハウスホームページ: <http://www.megahouse.co.jp/>

※本プレスリリースの内容は 2016 年 5 月 18 日のものであり、予告なく変更する場合があります。